

恩賜上野動物園におけるQRコード決済実証実験事業 企画提案書評価基準

I 目的

「恩賜上野動物園におけるQRコード決済実証実験事業企画提案書評価基準」（以下「評価基準」という。）は、東京都が公募する「恩賜上野動物園におけるQRコード決済実証実験事業（以下「実証実験」という。）」の企画提案者を「恩賜上野動物園におけるQRコード決済実証実験事業に係る決済事業者選定審査委員会（以下「委員会」という。）」により、選定するための方法等を示すものである。

II 審査の方法

- 1 企画提案書並びにプレゼンテーション及びヒアリングの内容を審査の対象とする。
- 2 次の項目にしたいがい評価する。
 - ア 市場性
 - イ 実現性
 - ウ 安全性
 - エ 効率性
 - オ 継続性
 - カ その他の観点による提案等
- 3 評価基準は次のとおりとする。
 - ア 市場性
 - (ア) 多くの利用が見込める決済サービスであることを評価する。
 - (イ) 動物園利用者に対する実証実験実施の広告宣伝や、利用者を惹きつける工夫などの提案内容を評価する。
 - イ 実現性
 - (ア) 事前準備から実証実験の実施まで、実現可能な計画・体制があり、完遂できる能力があるかを評価する。
 - (イ) 都が実証実験結果の検証・分析を行うために取得を希望する以下のデータを還元できるかを評価する。但し、還元データは個人を特定できない形式とする。
 - ① QRコード決済利用件数・利用金額（月毎に取りまとめと報告）
 - ② QRコード決済サービス毎の利用件数・利用金額（月毎に取りま

とめと報告)

③ 利用者情報（性別・年齢層等）

④ 決済サービス利用時点のデータ（曜日別、時間帯別）

⑤ 実証実験時に不具合が発生した事例、その内容と頻度

ウ 安全性

公金収納において求められる安全性について、以下の観点から評価する。

(ア) 決済事業者の情報セキュリティに関する体制を評価する。

(イ) 決済サービス利用者保護のための取組・体制等を評価する（例：利用者補償制度等）。

(ウ) 財務的な観点から決済事業者の経営状況を把握する。

エ 効率性

東京動物園協会が決済サービス加盟店として負担する手数料率その他の費用に関する提案内容を評価する。

オ 継続性

(ア) 実証実験終了後に動物園でQRコード決済サービスを本格導入した場合に想定される加盟店手数料率その他の費用を評価する。

(イ) 実証実験終了後に動物園でQRコード決済サービスを本格導入した場合の、動物園利用者の利便性向上及び動物園職員の事務効率化に資する提案内容を評価する。

カ その他の観点による提案等

その他の観点等による有用な提案を総合的に評価する。

4 評価の点数については300点満点とし、得点配分については市場性を120点、実現性を30点、安全性を60点、効率性を30点、継続性を40点、その他の観点による提案等を20点とする。

5 評価項目の内訳、それぞれの観点、点数の配分は別紙「書類審査項目」及び「プレゼン審査項目」による。

6 評価点の算出については、評価項目のそれぞれについて、委員会の各委員が0から5までの6段階で評価を付け、各評価項目の評価点を評価率で乗じたものを点数とする。

評点	評価の考え方	評価率
0	審査項目に対する提案又は回答がない	0
1	審査項目に対する提案又は回答がある	0. 2
2	審査項目に対する提案又は回答がやや優れている	0. 4
3	審査項目に対する提案又は回答が優れている	0. 6
4	審査項目に対する提案又は回答が非常に優れている	0. 8
5	審査項目に対する提案又は回答が傑出して非常に優れている	1. 0

7 委員会各委員の採点を平均した点をもって、得点とする。得点は小数点以下第1位までを有効とし、小数点以下第2位を四捨五入とする。

書類審査項目

評価項目		区分	評価点
ア 市場性(国内向けQRコード決済事業者が応募者である場合)			
観点(ア)	多くの利用が見込める決済サービスであることを評価する。		
	(1) 決済事業者が提供する決済サービスを一度以上利用したことがある国内ユーザー数 対象期間は平成30年4月1日～令和元年5月31日	・様式2-1に記入	30
	(2) 決済事業者が提供する決済サービスを月に一度以上利用した国内ユーザー数 対象期間は、平成30年4月1日～令和元年5月31日のうち任意の一ヶ月	・様式2-1に記入	30
市場性(インバウンド向けQRコード決済事業者が応募者である場合)			
観点(ア)	多くの利用が見込める決済サービスであることを評価する。		
	(1) 決済事業者が提供する決済サービスを日本国内で一度以上利用したことがあるユーザー数 対象期間は平成30年4月1日～令和元年5月31日	・様式2-1に記入	30
	(2) 決済事業者が提供する決済サービスを日本国内で月に一度以上利用したユーザー数 対象期間は、平成30年4月1日～令和元年5月31日のうち任意の一ヶ月	・様式2-1に記入	30
イ 実現性			
観点(ア)	事前準備から実証実験の実施まで、実現可能な計画・体制があり、完遂できる能力があるかを評価する。		
	(1) 実施スケジュール	・様式自由	10
	(2) 実施体制	・様式自由	10
観点(イ)	都が実証実験の検証・分析を行うために取得を希望するデータを選元できるかを評価する。但し、選元データは個人を特定できない形式とする。		
	(1) 都が取得を希望するデータの選元の実現可能性	・様式2-1に記入	10
ウ 安全性			
観点(ア)	決済事業者の情報セキュリティに関する体制を評価する。		
	(1) 情報セキュリティに関して取得している規格等の有無、名称又は独自工夫	・様式2-1に記入 (該当がない場合は「なし」と記入)	20
	観点(イ)	決済サービス利用者保護のための取組・体制等を評価する(例：利用者補償制度等)。	
(1) 取組の内容や体制について		・様式2-1に記入 (該当がない場合は「なし」と記入)	20
観点(ウ)	財務的な観点から決済事業者の経営状況を把握する。		
	(1) 財務情報の分かる書類を提出(直近3事業年度分)	・書類を提出	20
エ 効率性			
観点	東京動物園協会が決済サービス加盟店として負担する手数料率その他の費用に関する提案内容を評価する。		
	(1) 手数料率の提案	・様式2-1に記入 (未回答の場合は失格)	25
	(2) 手数料以外に東京動物園協会が負担する費用について ※「恩賜上野動物園におけるQRコード決済実証実験事業」に係る決済事業者募集要領「I 事業の概要」の「6 事業の前提」において、都が費用負担すると記載されているものは除く	・様式2-1に記入	5

オ 継続性

	観点(7)	実証実験終了後に上野動物園でQRコード決済サービスを本格導入した場合に想定される加盟店手数料率その他の費用を評価する。		
		(1) 手数料率その他の費用の提案	・様式2-1に記入 (手数料率が未回答の場合は失格)	20

プレゼン審査項目

評価項目		評価点
ア 市場性		
観点(イ)	動物園利用者に対するQRコード決済実証実験実施の広告宣伝や、利用者を惹きつける工夫などの提案内容を評価する。	
	(1) 決済事業者が実施する、動物園利用者への実証実験実施に関する広告宣伝の方法と、利用者を惹きつける工夫に関する提案	60
オ 継続性		
観点(イ)	実証実験終了後に上野動物園でQRコード決済サービスを本格導入した場合の、動物園利用者の利便性向上及び動物園職員の事務効率化に資する提案を評価する。	
	(1) 実証実験終了後にQRコード決済サービスを本格導入した場合に想定される提案	20
カ その他の観点による提案等		
観点	その他の観点等による有用な提案を総合的に評価する。	
	(1) その他の観点等による提案	20